





佐賀県「食」と「農」の振興計画 2019 改正内容

計画本文ページ及び 施策・項目名等	旧	新	修正理由
<p>P.13</p> <p>第4章 施策の展開方向</p> <p>稼げる農業の確立</p> <p>1 稼げる農業経営体の創出</p> <p>(1) マーケットインによる競争力のある農産物づくり 施設野菜</p>	<p>【主な具体的な取組】</p> <p>～中略～</p> <p>大規模経営を可能とする栽培体系や栽培様式の研究と普及</p> <p>○きゅうりの大規模栽培が可能となる栽培方法の研究</p> <p>○いちごのパッケージセンター()の整備などによる分業化の推進</p> <p>○市町や農協と連携した大規模ハウス団地の整備の推進</p>	<p>【主な具体的な取組】</p> <p>～中略～</p> <p>大規模経営を可能とする栽培体系や栽培様式の研究と普及</p> <p>○きゅうりの大規模栽培が可能となる栽培方法の研究</p> <p>○いちごのパッケージセンター()の整備などによる分業化の推進</p> <p>○市町や農協、<u>佐賀県農業公社</u>と連携した大規模ハウス団地の整備の推進</p> <p style="text-align: right;"><u>R3. 3月修正</u></p>	<p>施策の見直しに伴う追加</p>

佐賀県「食」と「農」の振興計画 2019 改正内容

計画本文ページ及び 施策・項目名等	旧	新	修正理由
<p>P.15</p> <p>第4章 施策の展開方向</p> <p>稼げる農業の確立</p> <p>1 稼げる農業経営体の創出 (1) マーケットインによる競争力のある農産物づくり 果樹</p>	<p>【主な具体的取組】</p> <p>果実の高品質化や省力・低コスト化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 根域制限栽培やジョイント仕立て栽培()などの、省力化や高品質果実生産が可能な栽培技術の導入推進 ○ 佐賀県で育成したカンキツ品種「佐賀果試 35 号」等の優良品種の導入や収益性の高い品目への転換の推進 ○ 消費者ニーズに即した本県独自品種の開発・普及 ○ 省エネ装置や省力機械・技術等の導入による低コスト化対策の推進 ○ 優良園地の集積や園地基盤整備等の推進 ○ 園地流動化計画等を基礎とした、計画的な担い手への園地集積の推進 ○ 傾斜の緩和や園内道整備等の園地基盤整備による生産性の向上 ○ 収穫作業の支援組織の育成など労働力調整の仕組みづくりの推進 ○ 産地を支える新たな担い手の確保・育成 ○ 就農サポートや経営継承等による新規就農者の確保・育成 ○ 雇用の導入による規模拡大や法人化を目指す経営体の育成 ○ 果樹を主体とした企業参入の推進 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  新品種「佐賀果試 35 号」 </div> <div style="text-align: center;">  みかんの根域制限栽培 </div> </div>	<p>【主な具体的取組】</p> <p>果実の高品質化や省力・低コスト化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 根域制限栽培やジョイント仕立て栽培()などの、省力化や高品質果実生産が可能な栽培技術の導入推進 ○ 佐賀県で育成したカンキツ品種「<u>にじゅうまる</u>」等の優良品種の導入や収益性の高い品目への転換の推進 <u>R3. 3月修正</u> ○ 消費者ニーズに即した本県独自品種の開発・普及 ○ 省エネ装置や省力機械・技術等の導入による低コスト化対策の推進 ○ 優良園地の集積や園地基盤整備等の推進 ○ 園地流動化計画等を基礎とした、計画的な担い手への園地集積の推進 ○ 傾斜の緩和や園内道整備等の園地基盤整備による生産性の向上 ○ 収穫作業の支援組織の育成など労働力調整の仕組みづくりの推進 ○ 産地を支える新たな担い手の確保・育成 ○ 就農サポートや経営継承等による新規就農者の確保・育成 ○ 雇用の導入による規模拡大や法人化を目指す経営体の育成 ○ 果樹を主体とした企業参入の推進 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  新品種「<u>にじゅうまる</u>」 <u>R3. 3月修正</u> </div> <div style="text-align: center;">  みかんの根域制限栽培 </div> </div>	<p>ブランド名「<u>にじゅうまる</u>」が決定したことに伴う修正</p>

佐賀県「食」と「農」の振興計画 2019 改正内容

計画本文ページ及び 施策・項目名等	旧	新	修正理由
P.20 第4章 施策の展開方向 稼げる農業の確立 1 稼げる農業経営体の創出 (1) マーケットインによる競争力のある農産物づくり 畜産	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 依然として肥育素牛価格や配合飼料価格が高値で推移していることから、畜産経営の環境は厳しい状況にあります。 ○ 畜産農家、特に肉用牛の繁殖農家の多くが65歳以上であり、農家戸数は減少傾向にあります。 ○ 現在の食肉センターは老朽化が進んでおり、また、輸出対応施設として認定されていません。 ○ 高病原性鳥インフルエンザが県内で2度発生（H27. 1月、H29. 2月）しており、豚熱（CSF）が26年ぶりに国内で発生しています。 R2. 3月修正 <p>～省略～</p>	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 依然として肥育素牛価格や配合飼料価格が高値で推移していることから、畜産経営の環境は厳しい状況にあります。 ○ 畜産農家、特に肉用牛の繁殖農家の多くが65歳以上であり、農家戸数は減少傾向にあります。 ○ 現在の食肉センターは老朽化が進んでおり、また、輸出対応施設として認定されていません。 ○ <u>県内で2度発生（H27. 1月、H29. 2月）した高病原性鳥インフルエンザが、令和2年度シーズンは全国で多発しています。また、豚熱も、国内で発生が続いています。</u> R3. 3月修正 <p>～省略～</p>	<p>鳥インフルエンザの発生状況に合わせた修正</p>

佐賀県「食」と「農」の振興計画 2019 改正内容

計画本文ページ及び 施策・項目名等	旧	新	修正理由
P.22 第4章 施策の展開方向 稼げる農業の確立 1 稼げる農業経営体の創出 (1) マーケットインによる競争力のある農産物づくり 米・麦・大豆	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ほ場や共同乾燥調製施設等の条件整備が進み、米、麦、大豆等を組み合わせた生産性の高い農業が展開されています。また、農地の高度利用や機械・施設の有効利用により、水稻は全国トップクラスの低コスト生産を実現し、水田の耕地利用率()は日本一を継続しています。 ○ 国による米政策の見直しにより、平成30年産から行政による米の生産数量目標の配分がなくなりました。 ○ 日本穀物検定協会が行う米の食味ランキングにおいて、「さがびより」が9年連続、「夢しずく」が2年連続で最高位の特A評価を獲得しています。 ○ 平坦地域では、認定農業者や集落営農法人などへの農地の集積は進んでいますが、多くの農地は未だに分散しています。また、中山間地域では、農業者の高齢化や減少が著しく、農地や農作業の受け皿となる組織が不足している状況です。 <p style="text-align: center;">~省略~</p>	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ほ場や共同乾燥調製施設等の条件整備が進み、米、麦、大豆等を組み合わせた生産性の高い農業が展開されています。また、農地の高度利用や機械・施設の有効利用により、水稻は全国トップクラスの低コスト生産を実現し、水田の耕地利用率()は日本一を継続しています。 ○ 国による米政策の見直しにより、平成30年産から行政による米の生産数量目標の配分がなくなりました。 ○ 日本穀物検定協会が行う米の食味ランキングにおいて、「さがびより」が<u>11</u>年連続、「夢しずく」が<u>4</u>年連続で最高位の特A評価を獲得しています。 R3.3月更新 ○ 平坦地域では、認定農業者や集落営農法人などへの農地の集積は進んでいますが、多くの農地は未だに分散しています。また、中山間地域では、農業者の高齢化や減少が著しく、農地や農作業の受け皿となる組織が不足している状況です。 <p style="text-align: center;">~省略~</p>	R2年度 特A取得に伴う更新

佐賀県「食」と「農」の振興計画 2019 改正内容

計画本文ページ及び 施策・項目名等	旧	新	修正理由
P.25 第4章 施策の展開方向 稼げる農業の確立 1 稼げる農業経営体の創出 (2) スマート農業の推進や新品種、新技術の開発・普及	<p>【主な具体的取組】</p> <p>AIやIoT等を活用したスマート農業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ IoTやロボット等を活用した農作業の効率化・負担軽減につながる新技術の開発 ○ 大区画化した水田における最新スマート農機()を活用した生産技術の開発 ○ 茶生産情報管理ソフト()を活用した茶の高品質生産技術の開発 ○ AI等を活用した肉用牛の発情検知や分娩予測技術の開発 ○ 低コスト化、規模拡大、品質向上のための研究開発の推進 ○ 飛躍的な収量・品質の向上を実現する施設園芸の統合環境制御技術の確立 ○ 機械化等による高収益な畑作営農システムの開発 ○ ハウスミカンの環境制御による高収量化技術の開発 ○ うれしの茶の特徴の把握による高付加価値茶生産技術の開発 ○ 牛肉の食味を向上させるための飼養管理技術の開発 ○ 開発した新品種・新技術の導入・普及 ○ 「いちごさん」や「佐賀果試35号」に適した栽培技術の確立と普及 ○ 農業団体、普及組織等との連携強化による研究成果の速やかな普及 <p style="text-align: center;">写真</p> <p>新品種「いちごさん」</p> <p style="text-align: center;">写真</p> <p>いちごの統合環境制御技術による高収量化生産の研究</p>	<p>【主な具体的取組】</p> <p>AIやIoT等を活用したスマート農業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ IoTやロボット等を活用した農作業の効率化・負担軽減につながる新技術の開発・普及 <u>R3.3月修正</u> ○ 大区画化した水田における最新スマート農機()を活用した生産技術の開発 ○ 茶生産情報管理ソフト()を活用した茶の高品質生産技術の開発 ○ AI等を活用した肉用牛の発情検知や分娩予測技術の開発 ○ 低コスト化、規模拡大、品質向上のための研究開発の推進 ○ 飛躍的な収量・品質の向上を実現する施設園芸の統合環境制御技術の確立 ○ 機械化等による高収益な畑作営農システムの開発 ○ ハウスミカンの環境制御による高収量化技術の開発 ○ うれしの茶の特徴の把握による高付加価値茶生産技術の開発 ○ 牛肉の食味を向上させるための飼養管理技術の開発 ○ 開発した新品種・新技術の導入・普及 ○ 「いちごさん」や「<u>にじゅうまる</u>」に適した栽培技術の確立と普及 <u>R3.3月修正</u> ○ 農業団体、普及組織等との連携強化による研究成果の速やかな普及 <p style="text-align: center;">写真</p> <p>新品種「いちごさん」</p> <p style="text-align: center;">写真</p> <p>新品種「<u>にじゅうまる</u>」 <u>R3.3月修正</u></p> <p style="text-align: center;">写真</p> <p>いちごの統合環境制御技術による高収量化生産の研究</p>	<p>施策の見直しに伴う追加</p> <p>ブランド名「にじゅうまる」が決定したことに伴う修正</p>

佐賀県「食」と「農」の振興計画 2019 改正内容

計画本文ページ及び 施策・項目名等	旧	新	修正理由
<p>P.62</p> <p>第6章 各地域における重点項目の具体的な取組</p> <p>3 唐津・東松浦地区</p>	<p>3 唐津・東松浦地域（唐津市、玄海町）</p> <p>【地域プロジェクト（地域で特に注力する取組）】</p> <p>（1）施設園芸における新品種・ICT等を活用した産地づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「いちごさん」及び「佐賀果試35号」の導入推進 ○ 「いちごさん」の栽培技術の確立及び普及 ○ ハウスみかん等での施設内環境の「見える化」の推進 <p>～省略～</p>	<p>3 唐津・東松浦地域（唐津市、玄海町）</p> <p>【地域プロジェクト（地域で特に注力する取組）】</p> <p>（1）施設園芸における新品種・ICT等を活用した産地づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「いちごさん」及び「<u>にじゅうまる</u>」の導入推進 <u>R3.3月修正</u> ○ 「いちごさん」の栽培技術の確立及び普及 ○ ハウスみかん等での施設内環境の「見える化」の推進 <p>～省略～</p>	<p>ブランド名「にじゅうまる」が決定したことに伴う修正</p>